

第14号
平成23年11月

北野町連だより

夢とロマンのあふれるまち

発行者
北野地区町内会連合会
会長 濱田 英彦

題字 木村信也氏(北野町連相談役)

空前の人出1万人! 夜空にさく花火に2万人!

～第21回北野ふれあい夏まつり～



23年度町連行事も前半が終了しました。短い夏も走り去り、ストーブに火の入る時期です。主として、屋外での催しが展開されてきました。忘れられない大きな事件、3・11東日本大震災日本人の心に深い傷跡を残しましたが徐々に立ち上がる兆が見えてきています。何としても東北を助けなければの気持ちでいっぱいです。募金をはじめ北野の皆様のいろいろな応援の情(こころ)が嬉しく厚くお礼申し上げます。

今年第21回をむかえた「北野ふれあい夏まつり」が好天に恵まれ7月30日夏休み入りした第一土曜日に北野親水公園を舞台にくり広げられました。空前の人出、推定8千人から1万人位のご来場でした。夜には、7時半から北野中央公園を全面使用で恒例の花火大会です。

今回はこの花火にスポットをあててみましょう。花火の歴史も祭りと同じく展開され、ローカルには珍しい本格的な花火です。まず運営ですが、基金は花火特別会計を設立し、すべて住民の方々の浄財(寄付金)と地元企業の応援のお気持ちで成りたっています。住民の浄財は各町内会・自治



会でとりまとめていただき、企業のお志は町内会連合会の役員が手分けして全企業にお伺いして、お気持ちをいただいております。北野地区以外の企業も含めてこの数年は100社前後の企業に応援して頂いております。お蔭をもちまして花火会計は健全運営で若干の余裕を持ちながら進めてきております。次にこの花火を打ち上げてくれる業者さんは、豊平川畔で毎年行われる大きな花火大会を多く手がけているK科研さんです。最初からのお付き合いで質量共に他の花火大会と遜色のないものを誇っています。今や札幌市内でも話題の大会で専門誌にも紹介されることも多々あります。

準備の段階はたいへんです。火を扱うこと、多勢の人を集めることなど、許可申請も各官庁に10指に余るものを提出します。申請洩れはないか、時期はまにあっているか、神経を使います。さあいよいよ打ち上げです。2万人位(推定)の見物の方々の期待をこめてドーンと打ち上げ開始30分弱のショーは、終わって見ればはかない一時の夢のように余韻を残して夜空だけが静かです。事故なく終わって何よりと、言葉を交わして今年の花火も終わりました。ありがとうございます。(濱田英彦)



防災・減災をどうするか?
(岡田弘北次名誉教授)



清田高校生徒会震災募金贈呈一池田区長へ



大きなかぶがゆけたー!
(民生・児童委員による)



人形劇をする人・楽しむ人

10月23日の第12回北野福祉まつりには、雨にもかかわらず大勢の皆様においでいただき心から感謝申し上げます。それぞれの団体や、グループ、ご参加くださった一人ひとりの皆様が、「つなげよう、広げよう福祉のまち北野」のテーマにふさわしく、しっかりとつながっていただきました。特に、防災研究会のご協力により実現した岡田 弘先生のご講演には皆様が大変満足され、楽しさと学びの福祉まつりとなりました。(一瀬ヒロ)

地域とかがわりある3小学校の教育活動!!

昭和49年10月2日創立
札幌市立北野小学校
校長 高田 章夫



4月に第14代校長として着任しました。よろしくお申し上げます。本校の教育課程で自慢できることに「北野のカレー」があります。これは、食育や環境教育（フードリサイクル）と結びついたもので、春から子どもたちが育てた野菜を使って秋に給食でカレーを作り、地域の皆様にも呼びかけて全校で食するものです。畑のボランティアの皆様のお力添えで、野菜は今年も豊作となりました。

また、開放図書館があり、図書ボランティアの皆様の活動で子どもたちの読書欲が旺盛です。週1回の読み聞かせはもちろんのこと、秋に開かれる「お楽しみ会」を楽しみにしています。

さらに、町内会、スクールガード、交通指導員の皆様による指導は、交通事故防止や不審者対策への意識の向上と大きな抑止力となっています。

本校は、開校以来、子どもたちが地域の皆様に見守られて育ってきましたが、こうしてみますと地域の皆様によって支えられている学校であることを改めて感じます。これまでの皆様の温かなお心とご支援に深く感謝申し上げますとともに、今後とも本校へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

昭和54年11月1日創立
札幌市立北野台小学校
校長 大松 克行



4月に赴任して参りましたが、私は、19・20年度に本校教頭として勤務しており、当時から北野地区の皆様が本校や子ども達に向けてくださるまなごしの優しさや温かさを嬉しく思っていました。

5月の山女稚魚放流式に始まり、交通安全街頭啓発運動、少年消防クラブの入クラブ式、北野ふれあい夏祭り、子供みこしなど、今年度も学校に地域行事のご案内をたくさんいただきました。今後も子ども達が楽しみにしている催しが予定されています。5月末の北野連町の懇談会で青少年育成委員会の活動計画の説明を聴き、これらの行事を実施するために、多くの方々が何度も打合せを重ね、準備をしてくださっていることを改めて知りました。皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

北野連合会館やお祭り会場、学校…と、お会いする機会が多いためか、私共の顔と名前を覚えてくださった方が増え、気軽に声をかけていただいております。今後も地域の皆様方との交流を進め、地域のことを教えていただき、私共からは学校の活動状況などをお伝えし、連携して子ども達の健全育成に努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

昭和57年4月1日創立
札幌市立北野平小学校
校長 金田 隆史



北野平小学校は、全校児童300名ほどの小さな学校です。今年度開校30周年を迎える本校には、自慢できることがたくさんあります。

北野の皆さんに、ゲストティーチャーとして授業に参加していただき、北野地区の歴史や街づくりの取り組みなどが年間に何度も設定されています。開校10年頃から続いている北野の老人会との花植え活動もその一つです。開校20年頃から続いている青空交流会では、全校児童が異学年の小グ

ループに分かれて焼き肉パーティーを行っています。小さなグループでの活動ですからどの子にも役割が与えられ、一つのことをやり遂げることを通して社会性を学んでいます。総合的な学習の時間の取り組みの一つとして、「ガラス細工に挑戦」「ピンホールカメラの秘密」「スクラップブック作り」など教職員がそれぞれの個性を生かして開くワークショップ『おもしろ発見タイム』が行われています。6年前からは5年生が恵庭に出かけて田植えと稲刈り体験をし、稲を持ち帰って脱穀・精米をして新米を食べます。残った藁は、お正月の飾り（しめ飾り）を作ります。これらはバトンをつないで今後も引き継がれていくでしょう。

学校区交通安全指導員の方のお話

- 交通安全は家庭も大切です。
- 子供は多人数になると注意がうすくなる。
- 横断歩道を走って渡る時は、あまり注意していない。
- 大人の自転車や車の運転者の注意が大切である。
- 冬道も優しい心で、思いやり運転

御存じですか？ 自転車安全利用5則

- ① 自転車（軽車両）は車道が原則・歩道は例外
 - ② 車道は左側を通行
 - ③ 歩道は歩行者優先で車道寄りを徐行
 - ④ 安全ルールを守る
・飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
・夜間はライトを点灯
 - ⑤ 子供はヘルメットを着用
- 札幌市交通安全運動推進委員会

北野けいじ板

北野すみれ町内会は、平成14年4月に「北野長栄」と「北野すみれ」が合併して発足し、町内会名は、全会員の投票により決定しました。

旧北野長栄は、昭和44年ごろに、初代会長一里越 房雄氏を中心に誕生し、また、旧北野すみれは、昭和48年に、初代会長 長澤 巖氏の下、月寒東第一団地として誕生。その後、平成3年に、月寒東すみれに改称。更に、平成9



パークゴルフ

年11月、行政区画整理に伴い、『北野すみれ』となりました。

現在、会員118世帯ですが、65歳以上の方が59世帯おられ、ますます福祉の推進と、住みよい環境づくりが要請されています。



日帰り旅行

それには、会員相互の意思疎通が大切であり、町内会行事や町連行事への参加を通じて、親睦を図りつつ、会員相互の交流を進めているところです。

図らずも、昨年、札幌市による、「災害時要援護者避難支援事業」に北野地区町内会連合会が指定され、その指導の下、当町内会も取り組んできましたが、今後も、引き続き推進していくことが必要と考えています。

今後とも、会員みなさまにとって、毎日が楽しい日々でありますように…と願って活動を進めていきます。(汐海晋弥)



北野まちづくりセンター
(北野連合会館内)
所長 大槻 典夫

まちづくりセンターは、清田区には5か所あります。そこでの主な仕事は次のとおりです。

- (1) 諸証明(戸籍謄本・抄本、住民票、印鑑証明など)の取次を行います。来所(戸籍請求は来所の場合のみ可能)または電話で申し込むと翌日(土・日など休日を除く)午後を受け取りが可能です。(来所の際は、身分確認できるものが必要)
- (2) 北野まちづくりセンターの玄関には、市の事業やイベント情報、まちづくり活動情報などのチラシの配架コーナーがありますので、ぜひご利用ください。
- (3) 地域における課題に関する情報収集と提供、地域のまちづくり活動への協力・支援、各種団体のネットワーク化に向けた取り組みや運営の支援を行います。



◀ 平畑由喜子職員

森本 仁美職員 ▶



- (4) 北野連合会館の1階会議室(約20名使用可能)・2階集会室(約80名使用可能)使用の申込み及び使用料金の受領など会館利用の手続きを行っております。
- (5) 公園などのゴミを収集した場合のボランティア袋の申込みと配布、札幌市の家庭ゴミ収集日カレンダーの再交付など。

こうした仕事のため、所長の大槻典夫と連絡員の平畑由喜子職員、森本仁美職員の3人が北野連合会館内の1階まちづくりセンター事務室に勤務しております。

また、地域でお困りのことがありましたら相談にのりますので、ぜひ気軽にお立ち寄りください。

町内会運営にかかわって



北野中央自治会
会長 伊藤 昭夫

当自治会は今年発足35周年を迎えました。この間、会の運営に努力されました役員、会員の皆様に厚く御礼を申し上げます。

会長の任務を受け、会の発展のため事業、運営に対する意見、希望のアンケート調査をお願いして、改善すべき所は見直しを行いました。

2年間の活動の中で多くの事を学び、私自身が活性を受け、楽しみや喜び、そして人のつながりの大切さや有難さを体験しました。緊急時や困った時は、となり近所、同じ町内会の仲間が頼りです。その意味でも今年度の活動方針は「ふれあい

行動」を下に ①防災・防犯対策の強化 ②事業への積極的自主参加 ③福祉活動の充実を主なテーマとして取り組んでいます。

当自治会も高齢化と共に役員不足となっていますが、子供からお年寄りまで参加できる行事内容を考え、さくらんぼ狩り、野外懇親会など昨年を大幅に上回る人数で盛り上がりました。高齢の方の新企画、器づくりも好評で、子供との合同クリスマス会も楽しみにしています。

「自分たちの町は自分たちが力を合わせて」と一人一人が町づくりの事業に一步ふみ出し、ふれあい、行動を共にすることが地域の発展と皆様の喜びにつながると思います。

北野の今昔を語る④

「母から学んだ明るく笑顔で!!」



山崎 好子 さん
(大正12年2月3日生、北野第2団地在住)

広い庭の山崎さん宅を訪問すると明るく笑顔で迎えてくださいました。白石村(現白石本通)で11人きょうだいの9番目に生を受け、昭和21年4月23歳で山崎家にお嫁にきました。もう65年にもなります。

当時は電気もなくランプ生活。結婚式も自宅で充電電を借りて挙式をあげました。白石村からの交通は4月でも雪が残っており、馬そりで走るのですから大いにゆれて頭のカツラを手で押さえながらそりにしがみついていたのを覚えているそう

です。お酒は自家製のどぶろくで引出物と言えば紅白のお餅でした。

さて、山崎さん宅は水田農家で本家4代目の緑さんと結婚したので、嫁として農業に家事に誠実かつ献身的に働き続けてこられたことが話をお聞きしながら実感できました。平成元年には40年以上も苦楽を共にされた最愛のご主人様が他界されましたが、山崎家を守り現在に至っております。

ここで、好子さんに過去を振り返って頂きますと、小学校(白石小)の頃、子どもが多かったのですが両親から一度もたたかれたこともなく育てられたような気がします。特に、母親は明るく活潑で辛くとも笑顔で先生や友人たちと交流していた姿が今でも強く思い出されるそうです。「私も母の後ろ姿に学んだのでしょう!出かけたり来訪いただいたりして多くの方々と仲良くさせて頂いております。」と笑顔で語っていただきました。

また、ボランティアの心も強く平成元年からは響流山・光円寺の仏教婦人会会長を引き受けられて長きに亘って活躍しておられました。町内会や老人会の行事等にも積極的に参加していることもお聞きできました。多謝!! (聞き手:一瀬・赤坂)

— これからの行事予定 — 北野町内会連合会

12月11日(日)	北野地区音楽のひろば	北野平小
12月15日(木)	第5回 理事会	
1月5日(木)	北野町連新年交礼会	アークシティH
1月8日(日)	新春子どもかるた大会	連合会館
1月9日(祝)	成人式	清田区体育館
1月10日(火)	清田区新年交礼会	シェラトンH
2月23日(木)	第6回 理事会	
2月下旬	第5回 北野防災研究会	連合会館
3月22日(木)	第7回 理事会	
4月22日(日)	平成24年度 北野町連定期総会予定	

編集後記

北野町連だより第14号をお届けします。少しでも読んで頂けるよう写真を大きくしたり、内容を生活に役立つものを入れてみました。また、古老をたずねてを、「北野の今昔を語る」に替えて復活。ご愛読願います。
平成23年11月28日

編集委員長 赤坂 治雄
編集委員 北野中央自治会 伊藤 昭夫
北野第3団地町内会 張替 宣男
北野641自治会 杉山 正晃
北野サントワウン自治会 前田 剛
北野すみれ町内会 汐海 晋弥
担当委員 飯田 淳二
アドバイザー まちセン所長 大槻 典夫
印刷 社会福祉法人 北海道リハビリ